



市民との対話集会（子ども・子育て編）

対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある。」との考えのもと、現場目線で、施策を推進していくことや、多くの市民の方が、市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち市政やまちづくりを語り合う場です。

今年度は、次世代の思いを紡ぐ対話集会を2回、テーマ別対話集会を6回開催しています。

テーマ別対話集会～子ども・子育て編～

安心して子どもを産み・育てることができる環境づくり、子どもの健やかな成長を社会全体で支える環境づくりなど、「子育てしやすいまち」の実現について一緒に話し合いました。

日時：11月12日（日）13：30～16：00

場所：うみべもり保育所

参加者：発言者9名 傍聴者13名

テーマ：①舞鶴市の子育て支援施策は充実していますか？
②子育てに不安、孤独を感じていませんか？

担当課：子ども総合対策室（子ども支援課、幼稚園・保育所課）



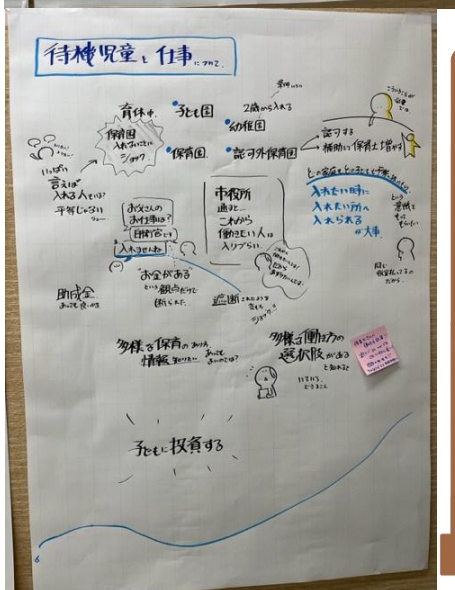
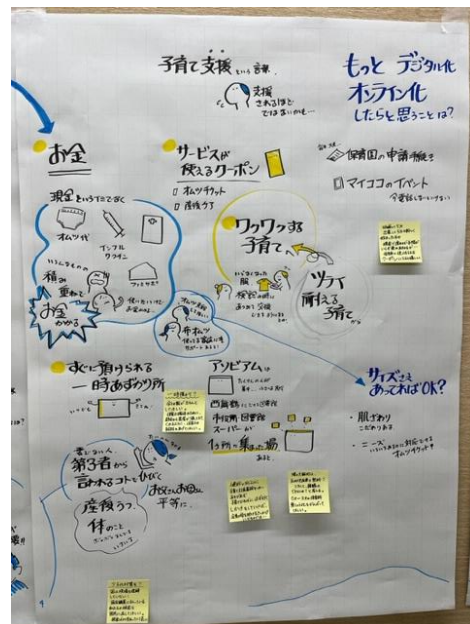
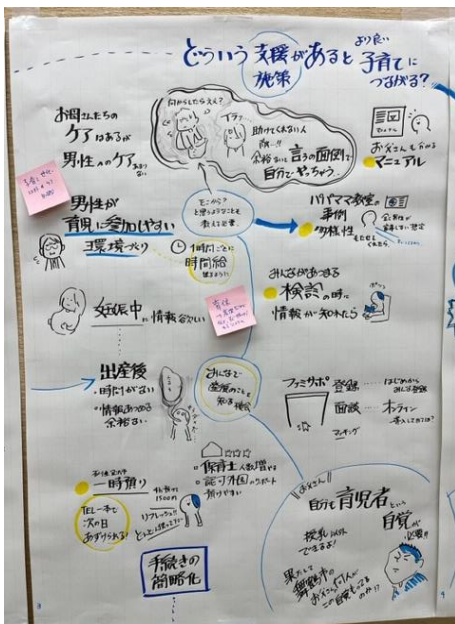
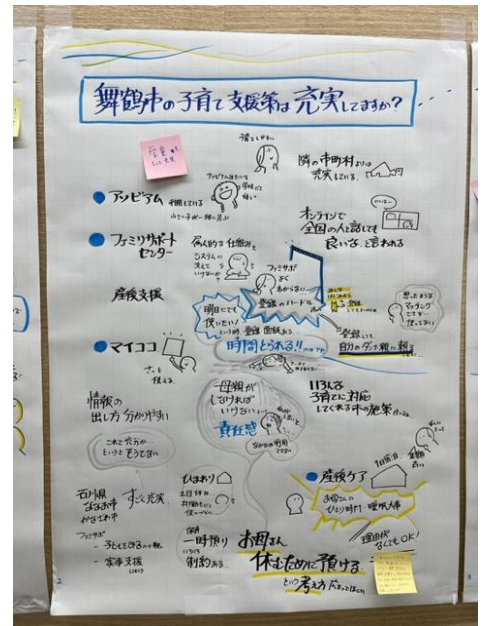
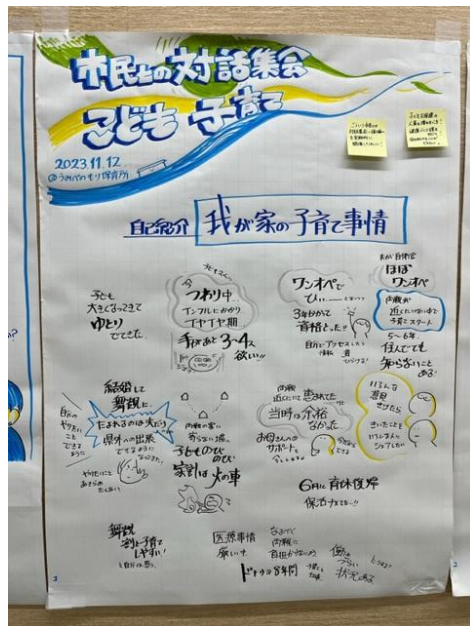
主な意見（内容はグラレコをご覧ください！）

- 舞鶴市の子育て支援施策は充実している方だと思う
- ファミリーサポートセンターの登録等の手続きに時間がかかる。システムを活用してはどうか
- 一時預かりについて、母親に用事がなくても預けることができるという考えが一般的になればよい
- 男性が子育てしやすい環境づくり（男性も育児・子育てのスキルを身に付けるべき）
- 産後ケアの重要性を認識していただきたい、周知してほしい
- 「あそびあむ」は良い施設で、よく利用するが、人が多くて走り回られると、乳幼児には危ない
- おむつの購入が一番お金がかかる。おむつ購入に対して補助をしてほしい
- 出産応援一時金で、産後のサービスの一部に使えるクーポンになれば母親は自分のために使うことができる



市民の対話集会 本日の流れ

13:00	受付
13:30	開会 ルール説明 中長あいさつ
13:40	対話 発言者自己紹介 我が家の子育て事情
14:00	① 舞鶴市の子育て支援策は充実しているか?
14:50	休憩室
15:05	② 子育てに不安を感じていませんか?
15:55	閉会



グラフィックレコーディング
グラフィックレコーディングとは、会議の中での議論を図式や絵などを使ってリアルタイムで可視化し記録する技術です。重要な要素をビジュアル化することで、内容を俯瞰的、直感的に捉えることができ、議論の活性化に繋がるものとして活用されています。